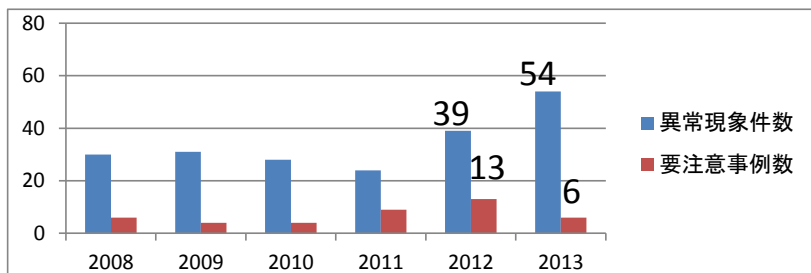


異常現象の発生状況

- 2013年異常現象発生数は、15件増加し54件となった
- 要注意事例は13件から6件へと減少した
- 高圧ガス保安法のA級、B級事故の発生は無かった
- 事象として、オフサイト配管・漏洩が多いという傾向に大きな変化は無かった → **今後も継続的な重点項目**



- 設備のリスクに応じた点検・補修計画の作成、異常現象等の点検計画への反映等を行っているが、長大な配管検査には年数が掛かることから、効果が表れるにはタイムラグが存在する。
- 各社は大事故防止のために、巡回パトロールの強化、点検計画の前倒し・点検個所の拡充による早期発見に努めている。

産業保安に関する取組み

- 各社の取組み
 - 経営トップの安全に関するメッセージの発信、ホームページ・CSR報告書等での公表
 - 定期的な現場との意見交換による安全理念の一体化活動
 - 重大事故ゼロ等の具体的目標の設定
 - 設備のリスクに応じた設備管理計画
 - 安全活動の進捗評価・次期計画への反映
 - リスクコミュニケーションの実施
- 石油連盟の取組み
 - 事故情報水平展開の拡充としてQ&Aシートの導入による情報の深掘り
 - 安全管理活動連絡会開催
 - 地震、防災に関する講演会開催
 - 地盤・基礎補強工法説明会開催
 - 各種講演会、参考資料の案内・連絡
- 自然災害への取組み
 - 国の補助制度を活用した大規模地震時における製油所の安全停止、供給機能の確保、早期復旧対策を実施中
 - 既存LPG球形タンクブレース補強、高圧ガス重要施設の耐震補強

産業保安に関する自主行動2014年度計画

異常現象要因分析の結果等から2013年度自主行動計画を以下のように改定

- 技術の伝承を含む教育訓練等による人材育成をさらに強く進めて行く
- 非常作業の変更管理の強化、トラブル解析の強化などによるヒューマンエラー防止活動をさらに強く進めて行く
- 事故情報等を着実に水平展開し、協力会社を含めて幅広い部署で活用する
- 関係部署間における適切なコミュニケーション・連携強化を行う
- 協力会社と連携してリスクアセスメントを実施するとともにリスク情報を共有する

1. 重大事故*ゼロを業界目標とする

* 高圧ガス保安法で定義されているA級及びB級相当規模の事故

・業界目標の実現に向けた支援活動の実施

- 事故情報説明会
- 安全管理活動連絡会
- 水平展開した事故情報の活用状況に関するフォローアップ調査

それぞれ年2回石油連盟が実施

2. 各社経営トップの産業保安への積極的関与を明示

- ・ 経営トップによる安全に関するメッセージの社会への発信(各社WEBサイト、CSR報告書等)に加えて、以下を実施
- 定期的な現場視察や意見交換により実態を把握し、経営トップとして必要な施策を実施
- 各社の経営トップ関与事例の業界内共有化と有効と思われるものを各社施策への取り込み
- 重大事故発生時に第三者委員会の設置と対策実施の陣頭指揮

3. リスクアセスメントに関する取り組みの強化

- リスクの大きさに基づく対策の優先度設定のため、各社継続的なリスクアセスメントを実施
- 各社リスクアセスメント結果を対策策定・改善へ適切に反映
- 各社リスクアセスメントのベストプラクティスを石油連盟の安全管理活動連絡会で共有化